

「同種移植後インフルエンザウイルス感染症の二次調査研究」について

2020 年 3 月 4 日

* 研究の目的 *

インフルエンザウイルス感染症は同種移植後患者さんに多くみられるウイルス感染症の一つですが、日本からまとまった報告がありません。

そこで、日本における同種移植後のインフルエンザ感染症における治療成績を明らかにすることを目的としています。

* 研究の対象となる方 *

1990 年から 2019 年 3 月までに東京大学医科学研究所附属病院で造血幹細胞移植を受けた 16 歳以上の患者さんで、2012 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までにインフルエンザウイルス感染症を発症された方です。

* 研究に用いる情報の項目 *

診断日および症状発現日、症状、血液検査結果、移植片対宿主病の状態、既往歴および喫煙歴、肺機能検査結果、抗ウイルス薬、抗菌薬、ワクチン投与の有無、経過、下気道感染症の有無など。

* ご協力いただきたいこと *

ご協力いただきたいことは、該当する患者さんのインフルエンザ感染症の発症の様子、治療の経過などの診療情報を本研究に使わせていただくことです。

研究の中で、患者さんをお願いする作業などはありません。

* 研究参加による利益・不利益 *

本調査に参加いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはありませんが、研究結果が今後の治療の発展につながる可能性があります。

また保存されている診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

* 個人情報保護の方法、研究参加の辞退について *

診療情報を使わせていただくにあたっては、直接患者さんを識別できないような登録番号を用います。登録番号と個人情報の対応関係を記した表（対照表）は血液腫瘍内科・分子療法分野の鍵のかかる保管庫にて厳重に管理します。

研究終了後、個人情報に記載した対照表は、研究責任者が 5 年間保存した後にシュレッダーにて廃棄します。なお、本研究にご自身の診療情報が使用されることを辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、それ以降、患者さんの診療情報を本研究に用いることはなく、辞退によって患者さんが不利益を被ることはありません。しかしながら、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますこと

をご了承ください。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報 は 厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

【問い合わせ窓口】

この研究についての質問やご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合、あるいは、本研究への診療情報の使用について辞退されたい場合など、この研究プロジェクトに関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。また、本研究について詳しくお知りになりたい場合には、研究計画書等の資料をご覧いただけますので（但し、他の対象者等の個人情報や知的財産の保護等に支障がない範囲内で）、下記までご連絡ください。

東京大学医科学研究所附属病院

血液腫瘍内科

高橋 聡

〒108-8639

東京都港区白金台 4-6-1

TEL：03-5449-5542

FAX：03-5449-5429

E-mail：radius@ims.u-tokyo.ac.jp